

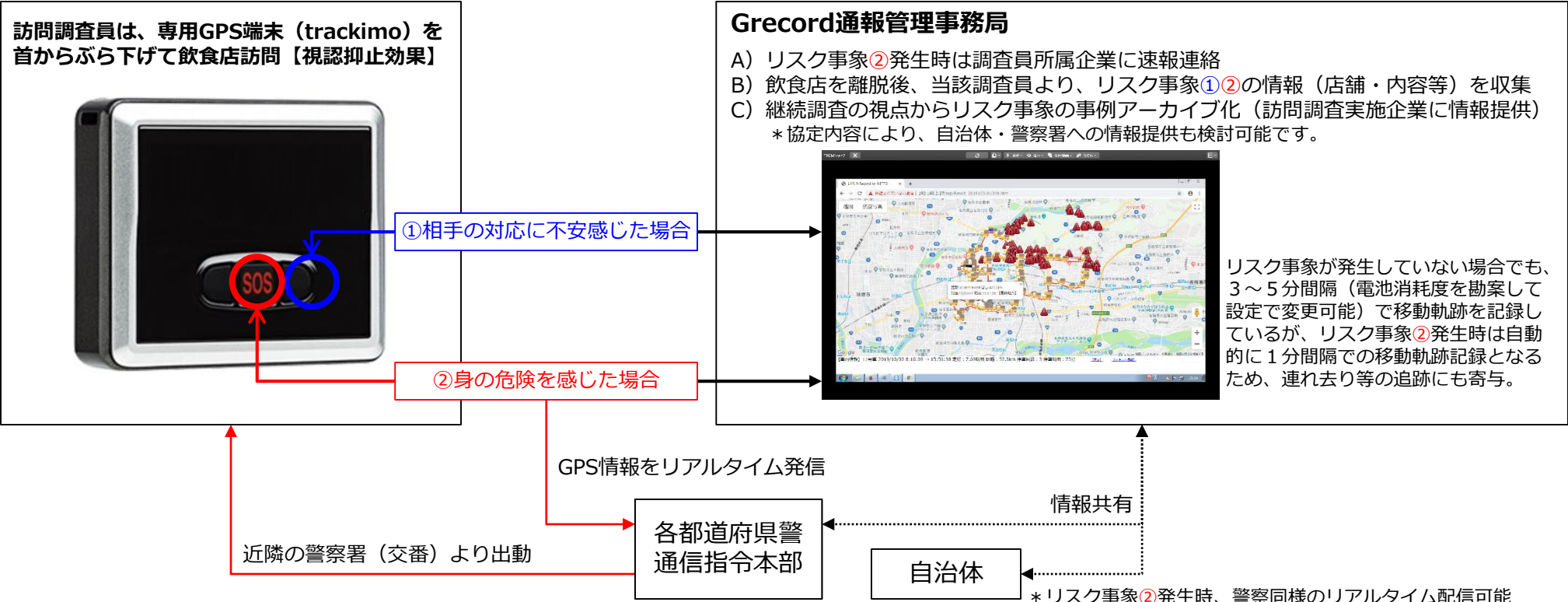
科学的根拠に基づくデジタル技術を活用した感染症対策ソリューション 民間企業調査員による訪問調査時のリスクマネジメントソリューション

飲食店訪問調査時の懸念事項として、訪問調査に対応する飲食店スタッフとのトラブル等が挙げられます。

実際、緊急的に開始された大阪での訪問調査では警察官の同行対応が実施されていますが、同手法は広範的かつ継続的な飲食店調査の実施においては経済効率を考慮しても現実的であるとは言えません。

しかし、訪問調査員が安心して訪問調査を行える体制は必要不可欠であるため、一般社団法人食の拠点推進機構（JICCE）の事務局でもある(株)LMRファシリティーズ（東京都公安委員会の認定警備業者）が、GPS端末とICTを活用したGrecord通報管理システムを用意しています。

Grecord通報管理システムの活用イメージ



Grecord通報管理システムによる安心調査管理費

例) 延6000店舗を、2名1組(各自専用GPS端末保有)・4店舗/日・20日稼働/月で、
 4ヶ月間で実施する場合：1店舗あたりの安心調査管理費=税込165円(専用端末40台)
 6ヶ月間で実施する場合：1店舗あたりの安心調査管理費=税込154円(専用端末27台)
 ※安心調査管理費は、調査の店舗数・期間・稼働設定状況から最適化された費用でご提供します。



Grecord通報管理システムの流用案

当初の飲食店訪問調査期間以外は、地域が抱える様々な対策(下記・一例)に活用していただくことで、数ヶ月経過後の継続的な飲食店訪問調査も当初同様に円滑に行えるだけでなく、費用対効果にも寄与します。

医療・福祉分野	災害防災分野	観光分野
<p>◎独居老人対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日、②ボタンで安否確認。 ・緊急時はSOS発信で登録指定先へ通報。(専用事務局機能で効率的な対策運用) <p>◎徘徊老人対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・該当者に首掛け(紛失防止)で持たせて、徘徊場所特定に加え、知人/顔見知りが見かけた際は②ボタンでお知らせ。(電話番号が判らない場合でも対応可) ・該当者本人が迷子になっていると気づいた場合でも、どれかのボタンを押せば、お知らせにより近所でも保護対象。 	<p>◎大規模災害対策</p> <p>大規模災害発生時に通信環境維持のため、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救助者又は救助ポイント ・各活動拠点・緊急車両に設置、②ボタンとSOS発信を併用して、大規模災害時の初期活動の効率化を図る。 <p>◎災害発生危険地域対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危険地域に立地する住居に貸与し、土砂崩れ・河川氾濫等の状況を、②ボタン・SOS発信で通知を受ける。(固定電話・スマホ環境に依存しない) ・子供しか在宅していない場合に特に有効。 	<p>◎登山・トレッキング施設等でのレンタル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首掛けタイプ(紛失防止)で貸与し、道外れ等を監視・救助対策ができる。 ・迷子等になりスマホ電池切れの場合でも、本人による現在地のSOS発信が可能。(スマホより電池が長持ちするため) <p>◎モニターツアー調査での活用</p> <p>モニターツアー参加者のスマホ活用では、個人情報問題もあるため、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専用GPS端末でのルート解析を行う。 ・施設等入店時に②ボタン、モニターツアーにおける一定条件を満たす(満たさない)場合はSOS発信を行う。 <p>等により、モニター検証の効率化を図る。</p>